



高輪台

12月号

港区立高輪台小学校

〒108-0074 東京都港区高輪2-8-24 <http://takanawadai-es.minato-kyo.ed.jp/>
TEL: 03 (5447) 0616 FAX: 03 (5447) 5335

くましく しこく かよく わくわくする これにとどても ごこちのよい 小学校

「誰か」のこと じゃない

校長

枯葉の舞う季節となりました。冷たい空気の中、子どもたちは校庭で元気に遊んでいます。早いもので今年も残すところあとひと月になりました。

去る11月22日に学習発表会を開催いたしました。当日ご来校いただいた保護者、地域の皆様、ご来賓の皆様にあらためて感謝申し上げます。教職員一丸となり、すべての子どもたちが輝くことができるよう工夫を凝らした新たな行事です。ご覧いただきましたご感想等をお寄せいただければ幸いです。

さて、今から77年前の昭和23年12月10日、国際連合の総会において「すべての人民とすべての国が達成すべき共通の基準」となる「世界人権宣言」が採択されました。本年も法務省では、「『誰か』のことじゃない。」を啓発活動重点目標に掲げ、12月4日から10日までの1週間を「人権週間」としています。全国各地で人権尊重思想の普及高揚に向けて、様々な取組が行われます。

私たちが生きる社会は、年齢も生まれ育った環境も考え方も異なる様々な人から形成されています。社会の中で人は関わり合い、理解しあったり折り合いをつけたりする経験を重ねていきます。この積み重ねが、互いに違いを認め合い、自分のことも他の人のことも大切にする気持ちを育んでいくことにつながっていきます。

高輪台小学校では11月のふれあい月間に人権課題「いじめ」を取り上げ、指導に取り組んでいます。

ふれあい月間では、各学級で「いじめ防止標語」を考え玄関に掲示しました。次の2つは、実際に子どもたちが考えた標語の一例です。

「たすけてあげよう 『だいじょうぶ?』『ありがとう』『ぜんぜんいいよ!!』(あじさい学級)

「互いの思いを尊重し、自分も相手も大切に」(5年1組)

本取組を通して、大切にしたのは当事者意識をもつことです。800名近い子どもたちが共に生活する本校では、毎日子ども同士のトラブルは起こります。しかし、トラブルを避けるために他の人と関わり合うことを制限するのではなく、多様な関わりの中で自分のことも他の人のことも大切にできる、確かな人権感覚をもつ人に育ってほしいと、私たち教職員は願っています。今後も高輪台小学校では、日々の教育活動を通して、子どもたち一人ひとりが「『誰か』のこと」ではなく、自分事として人権感覚を高められるよう努めてまいります。

この度、着任いたしました富樫 学(とがし まなぶ)と申します。高輪台小学校の子どもたちが、安全、安心に学校生活を送り、確かな力を身に着けることができるよう尽力いたします。保護者、地域の皆様におかれましては、ご心配なこと、ご不安なことがございましたら、いつでもご相談ください。

日々の教育活動を少しでも地域、保護者の皆様にお届けすることができるよう、12月から新たに、SNS(X)を活用し「今日の高輪台」を毎日ポストいたします。子どもたちの生き生きとした学びの姿を少しでもお届けができるよう、積極的な情報発信に努めてまいります。

是非この機に、高輪台小学校公式アカウントのフォローをお願いいたします。

【高輪台小学校 X】



TT プロジェクト

委員会活動による ファン スタディ
5、6年生が、日々頑張っている委員会活動でも、ファン
スタディがあります。子どもたちの柔軟な発想で、楽しい
企画が行われる予定です。

○運営委員会 「校内☆謎解きラリー」
12月5日(金)昼休み(12:55~13:20)
学級内でグループに分かれて、校内に設置された謎解き
に挑戦します。運営委員が「高輪台小をよりよくするため
に、みんなが楽しめることをしたい」と企画しました。

○運動委員会 「スポーツフェス」
低学年:12月5日(金)8:20~8:40 じゃんけん列車
中学年:12月10日(水)8:20~8:40 大玉送り
高学年:12月12日(金)8:20~8:40 綱引き
低、中、高学年に分かれて、様々な運動に取り組みます。
運動委員が「みんなに運動の楽しさを味わってほしい」と、
学年に合わせた種目やルールを企画しました。

12月の目標

学校をきれいにしよう。

生活指導部

12月の生活目標は、「学校をきれいにしよう」です。

毎週水曜日を除いて、各学級、学年ごとに掃除を行っています。掃除の仕方は様々ですが、自分たちの使っている教室を隅々まで綺麗にすることを目標に工夫をしています。

教室だけでなく、1年生は自分の教室を、2年生から4年生は教室だけでなく、学年で共通して使用する手洗い場や階段を、5年生や6年生は他学年も使用する図工室や図書室、算数教室の掃除を行います。学びの場となっている小学校を綺麗にする心は、学校やそこで生活する友達、自分自身を大切にすることにつながっています。

教職員も、児童とともに掃除を行いながら、ともに生活する喜びや、子どもたちの成長を感じています。

12月には、2学期の最後に行う教室の大掃除があるクラスもあります。新しい年に向けて、教室を隅々まで磨き上げ、気持ちのよい3学期を迎えることを願っています。

箱根移動教室

6年担任

10月22日(水)~24日(金)の2泊3日、6年生は箱根移動教室に行ってきました。小田原城や箱根関所では歴史、地球博物館や大涌谷では自然について学び、箱根彫刻の森美術館では芸術作品に触れてきました。箱根ニコニコ高原学園では友達との生活を楽しみ、夜には箱根寄木細工のコースター作り体験をしたり、学年レクで思い切り盛り上がったりすることができました。みんなで楽しい移動教室にするために、仕事を分担し、お互いに声をかけ合いながら活動する姿が印象的でした。

〈児童の振り返りから〉

- 大涌谷での学習が印象的でした。火山の仕組みを知っていても、実際に目の前で噴き出す蒸気や硫黄の独特の匂いを感じながら学ぶことができました。本物の迫力に、自然の素晴らしさを感じることができました。
- 移動教室で心に残ったことは箱根関所です。関所に行く前にはあまり関所のことが分からなかったけど、見学をして関所の役割などを知ることができました。社会で江戸時代の学習をするときに生かしたいです。
- みんなの生活は、お風呂にどのぐらい入るかなどでけんかもあったものの、一緒に寝られるわくわく感や楽しさもあり、とても心に残りました。
- ニコニコ学園での生活では、班長としての責任感をもちながら過ごすことができました。班をまとめるのは大変だったけど、一人じゃなくて友達と協力することによりよく生活できるようになりました。箱根での生活を通して、友達と協力することや周りをよく見て行動することの大切さに触れることができました。



専科授業の様子

理科

理科担当 小山 輝久

ICTを活用しながら、中学校への接続を意識した授業づくりに挑戦中です！

このたび、中学校から特別な制度で異動し、小学校の理科専科として勤務することになりました。学級担任制から教科担任制への変更は、児童との関わり方や日々の流れに大きな違いがあり、戸惑うこともあります。

しかし、その分、理科の楽しさをしっかりと伝えながら、中学校での学びにつながる力を育てたいという思いを強くしています。授業では、ICTを積極的に活用し、タブレットでの意見共有や動画教材による実験の視覚化などを取り入れています。こうした工夫により、子供たちが「なるほど！」と感じる場面を増やし、探究心を育てています。

新しい環境での挑戦は簡単ではありませんが、子供たちが次のステップに自信をもって進めるよう、これからも前向きに取り組んでいきます。



音楽

音楽科担当 高良 朝佳



音楽室では、4・5・6年生の音楽の授業を行っています。 今年度高輪台小学校に異動しましたが、歌が大好きな児童と出会えたことに感謝して過ごす毎日です。旋律の特徴について考えたり、歌詞の意味について話し合ったり、どんな風に歌つたら曲想に合うのかな、と考えたりしながら歌っています。また、沢山の楽器に触れてほしいと思い、その機会がもてるよう工夫しています。鑑賞の授業では多くの児童が楽器や楽器の音色に興味をもって学んでいます。意欲的な児童が多く、何を学習したか、帰宅後におうちの方に伝えてくれたら嬉しいなと思っています。

国際科

国際科担当 大井 紗智

今年度は「国際科」の授業以外でも、3年生がスイス大使館と交流したり、全校で1日 English day を実施したり、6年生が今月 TGG(Tokyo Global Gateway)に見学に行く等、子どもたちが多様な文化に触れる機会を多く設けることができました。

多文化を理解することによって、相手を思いやる心を育て、国際人としての資質を培うことができると思います。今度も、NT(ネイティブティーチャー)と一緒に、実践的コミュニケーション能力の基礎として、歌やチャンツに合わせて英語特有のリズムを学び、相手意識をもった会話ができるよう発音練習していきます。友達同士でお互いに自分の気持ちや考えを相手に伝えることの楽しさを味わえるよう、授業づくりに努めています。



図画工作

図画工作科担当 加藤ゆかり

図画工作の授業では、日頃から色や形の美しさ、楽しさを感じられるような授業づくりに取り組んでおります。「水にインクをとかしたら、どのように変化していくのだろう」「粘土から自分の思い描いた形を作り出すにはどうすればいいだろう」と、子供たちは日々試行錯誤しながら制作活動をしています。この

日々の試行錯誤や発見が子供たちの豊かな日常生活や学びにつながり、生きていく力になっていきます。子供たちの「いいことみつけた！」という思ひがたくさん詰まった作品を、図工室で一緒につくっていきたいと思います。



